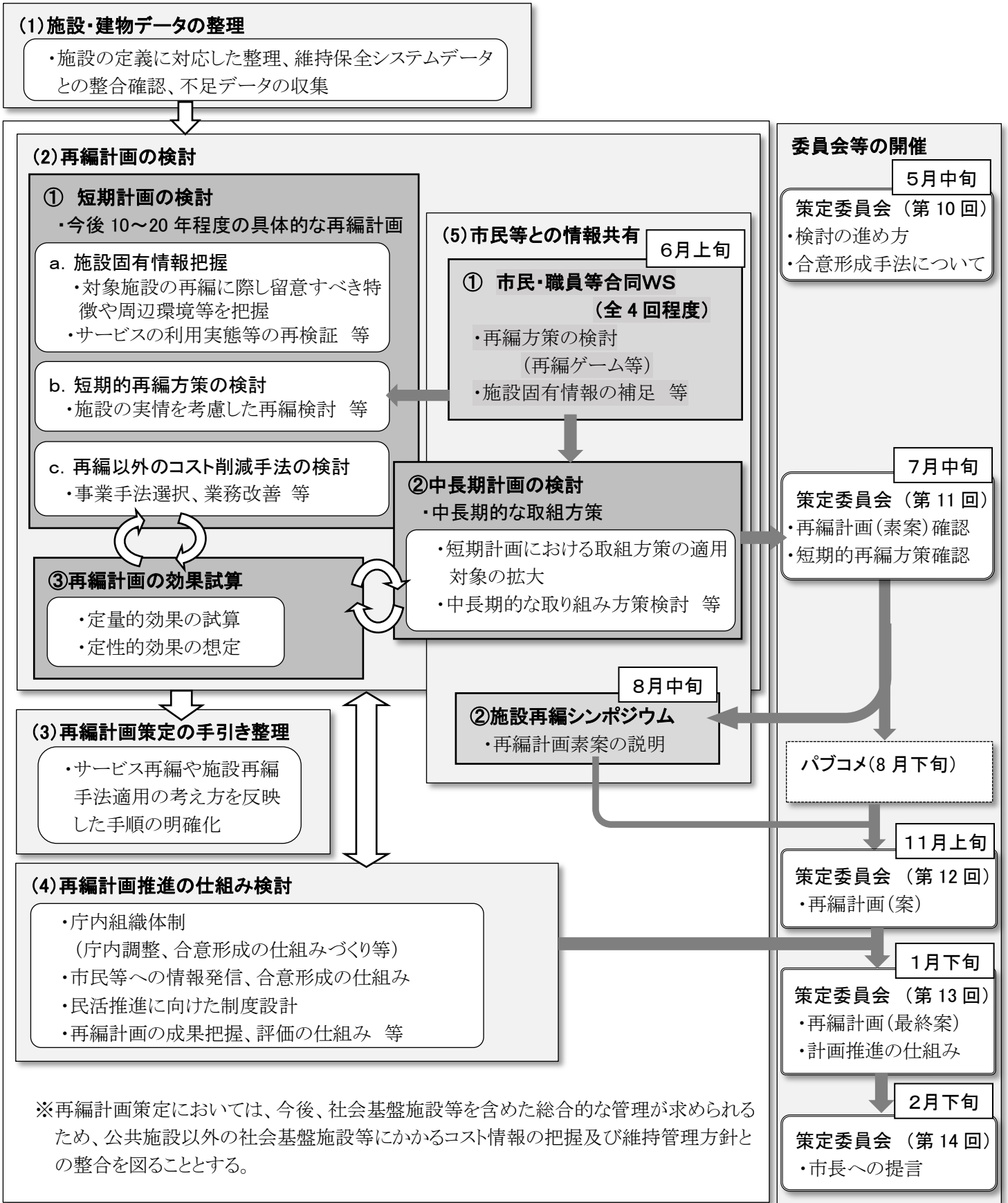


平成 26 年度公共施設等再編計画策定の進め方について（案）



(1)施設・建物データの整理

- ・公共施設データについて、施設と建物の関係に対応した整理を行うとともに、維持保全システムデータとの整合を確認し、不足データを収集する。

(2)再編計画の検討

①短期計画の検討

- ・今後 10～20 年間程度の期間に、建物の更新や大規模修繕が必要になる施設を対象として、地域内を中心に、他施設との連携を考慮した場合に具体的に想定される再編手法を検討し、ショートタームの短期再編計画として取りまとめる。

※なお、ここで取りまとめる短期計画については、あくまでも望ましい方向性や有力な可能性を示すものである。

a. 施設固有情報の把握

- ・短期計画の検討対象とする施設について、再編に際し留意あるいは制約条件として考慮すべき、利用実態や建物等の特徴、周辺環境や立地条件等の施設固有情報を把握する。
- ・施設で提供するサービスに対応した利用実態など、再編計画の策定に向けて不足するデータを収集整理する。

b. 短期的再編方策の検討

- ・対象施設と同様のサービスを提供する施設、あるいは、同じ地域内など比較的近接して立地する施設との集約化など具体的な再編方策を検討整理する。
- ・ここでは、施設固有情報を踏まえた実現性を考慮するとともに、後述の効果試算における分析結果等を踏まえて、適用性の高い方策を選定する。

c. 再編以外のコスト削減手法の検討

- ・施設集約化等の再編以外に、更新の実施や再編後の施設運営に際しての民間活用など、公共施設にかかるトータルコストの削減につながり、対象施設において適用性の高い手法を検討する。

②中長期計画の検討

- ・短期計画における再編方策を、施設対象を拡大して適用するための条件整理を行う。
- ・上記条件をもとに、中長期に実施を予定する再編方策を整理する。

③再編計画の効果試算

- ・短期及び中長期の再編計画の効果について、可能な範囲で定量的に試算する。
- ・トータルコスト削減の目標が達成できるよう、試算結果を踏まえて短期及び中長期の再編計画の見直しを図る。

(3)短期計画策定の手引き整理

- ・再編計画の短期計画については、新たに大規模修繕や更新が必要になる施設を検討対象に加え、継続的に見直しを行っていく必要がある。従って、施設の所管課が共通の考え方に基づいて短期計画を策定できるよう、サービス再編や施設再編手法適用の考え方を反映した手順等を明確化し、計画策定の手引きとして取りまとめる。

(4)再編計画推進の仕組み検討

- ・再編計画の策定、実施結果の検証、計画見直しなどの PDCA サイクルを確立し、取組みを具体的に推進するために必要な仕組みについて検討する。
- ・庁内組織体制（庁内調整、合意形成の仕組みづくり等）
- ・市民等への情報発信、合意形成の仕組み
- ・民活推進に向けた制度設計
- ・再編計画の成果把握、評価の仕組み

(5)市民等との情報共有

①市民・職員等合同ワークショップ(WS)

- ・短期計画の対象施設について、検討した短期計画の案をたたき台として、所管課職員からの情報提供や相互の立場から意見交換を行った上で、市民サービスの確保と継続的な市政運営の実現の両面を考慮した再編案を検討するための WS を実施する。
- ・ワークショップの成果は、短期計画における再編モデルとする。
- ・WS は全 4 回のプログラムとし、5 地域の班に分かれて検討することを想定している。

回	内容
第 1 回	再編案の検討に向けた研修
第 2 回	再編案の検討（その 1）
第 3 回	再編案の検討（その 2）
第 4 回	再編案の取りまとめ

②施設再編シンポジウム開催

- ・再編計画素案について、市民に広く発信するためのシンポジウムを開催する。シンポジウムは 1 回とし、プログラムは委員会委員による基調講演、市担当者による取組経緯及び素案の概要説明、市幹部及び委員会委員によるパネルディスカッション等を想定する。